

インストラクショナルデザインお悩み Q&A サイトについて

レイヤーモデルとは

本サイトでは、皆さんのお悩みをレイヤーモデルに整理しています。レイヤーモデルは、eラーニング（あるいは授業や研修等）の質を5つの段階に分けて整理したものです。5段階のレベルごとに質の達成指標と達成に適切なインストラクショナルデザイン（ID）技法が示されています。

eラーニングの質	達成指標	主な ID 技法
レベル3: 学びたさ (魅力の要件)	継続的な学習意欲, 没入感, つい余分なことまで, 将来像とのつながり, 自己選択・自己責任, 好みとこだわり, ブランド, 誇り	動機づけ設計法 (ARCS モデル) 成人学習学の原則
レベル2: 学びやすさ (学習効果の要件)	学習課題の特性に応じた学習環境, 学習者ニーズにマッチした学習支援要素, 共同体の学びあい作用, 自己管理学習, 応答的環境	学習支援設計法 (9教授事象) 構造化・系列化技法
レベル1: わかりやすさ (情報デザインの要件)	操作性, ユーザビリティ, ナビゲーション, レイアウト, テクニカルライティング	プロトタイピング 形成的評価技法
レベル0: ムダのなさ (SME 的要件)	内容の正確さ, 取り扱い範囲の妥当性, 解釈の妥当性, 多義性の提示, 情報の新鮮さ, 根拠・確からしさの提示, 適正な著作権処理	ニーズ分析法 内容分析法 職務分析法
レベル-1: いらつきのなさ (精神衛生上の要件)	アクセス環境, 充実した回線速度, IT 環境のレベルに応じた代替的利用法, サービスの安定度, 安心感	学習環境分析 メディア選択技法

図：レイヤーモデル

以下では、それぞれのレイヤー（レベル）について説明していきます。

レベル3：学びたさ（魅力の要件）は、「魅力」に関わる側面になります。たとえば、やる気を高めるための工夫は本レイヤーの範囲になります。

レベル2：学びやすさ（学習効果の要件）は、効果的に学習者に身につけてもらうことにつながるレイヤーです。学習目標を達成するための的確な「方法」を選ぶことが本レイヤーの目的です。学びの工夫にお悩みの場合は、ここが該当します。

レベル1：わかりやすさ（情報デザインの要件）は、学習内容をわかりやすく伝えているかどうかに関するレイヤーです。どんなに良い学習内容でもそれが学習者に伝わらなければ効果は得られません。ただし、いくら情報デザイン面を工夫しても、学びの支援（レベル2）がなければ、学習が効果的とは限らない点には注意したいところです。

レベル0：ムダのなさ（SME 的要件）は、教育の「効率」の側面が強く関係しています。たとえばゴールが見えない学習、無理を強いる学習、妥当でない学習内容、見当違いの評価などは、学習者あるいは制作者にとって労力や時間の無駄で不幸なことです。

レベル-1：いらつきのなさ（精神衛生上の要件）は、学びを実現するためになくてはならない要件がここに当てはまります。つまり実施に必要な最低限の学習環境の確保ができているかどうかに関わる問題です。たとえば、ネットワークのスピードが遅いなど、学習者を不快にさせることが該当します。

本サイトの使い方

まず、皆さんが抱えるお悩みが一番近いと思われるレイヤー（レベル）を検討してください。レイヤーを選択しますと、**Q**（質問）のリストが出ますので、自分が知りたいことに近い**Q**を選んでください。そうしますと、**A**（答え）として、簡単な説明と、おすすめの情報リソース（リンク先）が出てきますので、それらを眺めてみてください。異なるレベルで同じ理論が紹介される場合もありますが、それは複数のレイヤーに関わる理論ということです（たとえば、レベル2のやる気を引き出すには、レベル1のきちんと身につくのかどうかとも必要になってきます）。ただし、同じ理論であっても、達成すべき評価指標（魅力=やる気を引き出すのか、効果=しっかり身につくのか）としてどこを重視するのか、すなわちレイヤーが異なっているという点には留意しておきましょう。

本サイトについて

本サイトは、eラーニングをはじめとして、授業や研修など、インストラクショナルデザイン（ID）に関わる皆さんのお悩みを**Q&A**形式で解決することを目的としています。IDは、教育の効果・効率・魅力を高めるための知見を扱う実践重視の研究領域です。教育の分析・設計・開発・実施・評価の一連のプロセスを含みます。IDに関する情報リソースは、熊本大学大学院教授システム学専攻をはじめとして、蓄積・公開されていますが、情報が膨大で雑多な状況であり、欲しい情報の載った適切なリソースにたどりつけない場合があります。そこで本サイトは、いわゆる「逆引き」的に、皆さんのお悩み（実現したいこと）から、アンサー（情報リソースのリスト）を提供しています。IDの専門家が「人力」で作成しています。どうしても情報リソースありきになりますので、多少強引な**Q**の設定もございますが、皆様の役に立てれば幸いです。

本サイトは、**JSPS** 科研費「教育設計基礎力養成環境の構築とデザイン原則の導出に関する統合的研究(23300305)」の成果として公開しています。

関連する書籍としては、インストラクショナルデザインに使える道具を集めた鈴木克明（監訳）市川尚・根本淳子（編著）（2016）「インストラクショナルデザインの道具箱 101」北大路書房がございます。ぜひこちらもご覧になってください。